



明治5年から 創立149年

学校の教育目標

# 浜っ子石田

☆向上心をもち 高め合う子

① つも元気で やりぬく子

② んげんに考え くふうする子

③ れとも仲よく 助け合う子

## 令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

本年度5月、6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。

実施された調査は、教科に関する調査（国語、算数）と質問紙調査（生活環境や学習環境に関すること）の2種類です。

学校では、子供たちのよさをさらに伸ばし、課題となった点は改善策を検討しています。今後も学校と家庭が連携して、子供のよさを伸ばすために、それぞれができることや力を合わせてできることを考えながら、子供たちを育てていきたいと考えております。

今回の全国学力・学習状況調査の結果を一つのきっかけとして、学校生活についてお子さんと会話しながら、お子さんのよさを認め、励ます機会としてください。

### ★教科ごとの調査結果 ～優れている点と課題の残る点～

#### 【国語】

優れている点	課題の残る点
○文の中における主語と述語との関係を捉える。	△目的や意図に応じ、資料を使って話す。
○思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う。	△自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える。
○目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。	△目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける。
	△文の中における修飾と被修飾との関係を捉える。

《確かな学力の育成に向けて》

- ・文の中における主語と述語の関係をしっかりと捉えることができていました。その反面、修飾と被修飾の関係を捉えることに課題が残りました。主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割等、文の構成を理解する学習を継続的に進めていきたいと思えます。
- ・漢字を正しく書くことに少し課題が残りました。正しく書いた漢字も多いのですが、少し不十分なところもありました。学習した漢字はきちんと書けるようにドリルやプリント等を用いた反復学習に今後も取り組んでいきたいと思えます。また、「パワーアップノート」を活用した家庭学習での漢字練習等、家庭での協力をよろしく願います。

たします。

- ・目的に応じて文章や図表を結び付けながら、必要な情報を見付けることに課題がありました。大量の情報の中から目的に応じて必要な情報を見付ける能力が今後ますます重要になります。図や資料のある新聞を読む活動等を行い、どこに着目して読めばよいか判断できる能力の育成に努めていきます。家庭においても、多様な種類の本を読んだり、新聞を読んだりすることを勧めるなどのご協力をお願いします。

### 【算数】

優れている点	課題の残る点
○条件に合う時刻を求める。 ○集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断する。 ○速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する。 ○速さと道のりを基に、時間を求める式に表す。	△データを二次元の表に分類整理する。 △三角形の面積の求め方について理解している。 △商が1より小さくなる等分除の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算する。 △速さを求める除法の式と商の意味を理解している。

《確かな学力の育成に向けて》

- ・午後1時35分から50分後の時刻を書いたり、分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書いたりするなど、基礎知識の定着が見られました。今後も、子供たちの既習内容の習得状況を確認し、理解の状況に応じて繰り返し指導することや補充的な学習を取り入れた指導を行うなど、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得に努めていきます。
- ・しかし、三角形の面積を求める公式を知っていても、様々な数値が示された図形から、底辺や高さに当てはまる数値を選ぶことに課題がありました。様々なパターンの図形を示しながら、底辺や高さが図形のどの部分になるのかを考える必要性を感じました。公式に当てはめて答えることにとどまらず、公式を活用して答えを求めていく力の育成に努めていきます。



## ★石田っ子の姿 ～質問紙調査の結果から～

### ○ 基本的な生活習慣の確立

「朝食を毎日食べて」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と答えた子供が多くいます。しかし、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」子供の割合が下がっています。時には、遅くまで起きており、睡眠時間が足りないということがあるかもしれません。生活習慣は、学力にも影響を及ぼすと言われていています。早寝・早起きをして睡眠時間を十分にとること、朝ご飯をしっかり摂取することは、心身の成長、健康にとっても大変重要です。ご家庭でのご協力をよろしく願いいたします。

## ○ 家庭での学習習慣の確立

「一日に1時間以上家庭学習に取り組んでいる」子供が少なく、「家庭学習の時間が30分以下」の子供の割合が比較的高いことが分かりました。まずは、今日の授業内容を振り返ってみましょう。そして、音読、漢字・計算練習等基礎的な学習を積み上げるとともに、自主的な学習も進めてほしいと思います。本校では、「パワーアップノート」による自主学習を勧めています。「家庭学習のすすめ」や積極的に取り組んでいる子供のよい例を参考にして、継続して学習に取り組んでみてください。この後、ノート展も予定しています。まずは机に向かい、宿題や今日学校で勉強したことを復習し、そして、基礎的な学習をしたり、自主的な学習をしたりして、学習する習慣を身に付け、少しずつその時間を増やしていくとよいと思います。子供たちががんばる姿を褒め、学習意欲の向上にもつながってほしいと思います。家庭での協力をよろしくお願いいたします。



## ○ ICT活用の推進

「学習の中でコンピュータ等のICT機器を使うのは勉強の役に立つ」と思う子供の割合がとても高いことが分かりました。実際の授業からそう感じているのだと思います。本校では、積極的に1人1台端末の利活用に取り組み、分かりやすい授業や子供たちが学び合える授業、一人一人がより深く考える授業づくりを心がけ、学力の定着・向上に努めていきます。

## ○ 学ぶ意欲の向上

「国語や算数の勉強は大切」で、「国語や算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と思っている子供の割合が比較的高いことが分かりました。学ぶ意義を感じ取り、学ぶ意欲を高めて学習に取り組んでいくことが一番大切だと思います。これからも、「学ぶ意義」「学ぶ意欲」を念頭に入れた授業づくりに取り組むとともに、学ぶ楽しさを感じられるような授業づくりに取り組んでいきます。

## ○ 友達との協力

「友達と協力するのは楽しい」と感じている子供が多くいました。生活面でも学習面でも友達と協力するよさを感じ取っているものと思います。学級生活や学校生活において、友達と関わりながら、協力して教育活動を行っていく機会を多くしていきたいと思えます。授業においても、助け合う場面や学び合う場面、協力して活動する場面等協働的な学習を多く取り入れ、楽しく学習を進めながら、学力の定着・向上に努めていきたいと思えます。

## ○ 自己有用感

家庭でも、子供たちが家族の一員としての役割があり、家族が協力して生活しているこ

と感じ、家族のために役に立っているという気持ちをもつことが人とのかかわりや社会性の基礎につながると言われます。誰かの役に立つことができたという経験をもたせたいものです。

### ○ 挑戦する心・やり遂げようとする気持ち

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と答えた子供の割合が比較的高く、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」と答えた子供が多くいます。挑戦すること・やり遂げることは、生活面でも学習面でもとても素晴らしいことだと思います。この2つを大切にして、家庭生活、学校生活、社会生活を充実させてほしいと思います。

### ○ 地域とともに

「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた子供がとてもたくさんいました。子供たちは、家庭、学校、地域で育っていきます。地域の行事に積極的に参加する中で、ふるさとに誇りや愛着をもち、地域や社会をよくするために自分ができることを考える石田っ子に育ってほしいと思います。

※「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができた・規則正しい生活を送っていた」と答えた子供の割合が比較的高かったです。冷静に対応して生活していたと思われる。

## ★学校として ～調査結果を受けて～

今後、「学ぶ意欲の向上」がますます重要になってきます。学校においては、一人一人に応じたきめ細やかな指導を心がけ、分かる授業を目指し、学習好きな子供を育てていくよう努めます。また子供たちが「～の学習がしたい」「～ができるようになった」「～が楽しかった」「友達に会いたい」等と思えるような楽しい学校づくりを進めていきます。

元気な体と健全な心が学習に前向きに取り組む基盤となります。学校では、子供たちが生き生きと楽しく学校生活を送ることができるように「安全・安心な学校づくり」、「できる・分かる・楽しい授業づくり」により一層努力いたします。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

### 調査問題について詳しく知りたい方へ

6年生が取り組んだ調査問題や正答例は、文部科学省、国立教育政策研究所のホームページからご覧いただけます。「全国学力調査」「全国学力・学習状況調査」等の言葉で検索できます。6年生がどのような問題に取り組み、課題が見られたのはどのような問題だったのかをご覧ください。主に3年生から5年生までの学習内容から出題されています。ご家庭で問題に挑戦してみるのもよいですね。